

こんにちは 野々市市議会です



館野小学校大規模改修にかかわる
平成28年度補正予算などを議決

... 2P

予算決算常任委員会で議案審議

... 3P

12月定例会一般質問 9人が登壇

... 4P

総務産業常任委員会視察報告

... 13P

教育福祉常任委員会視察報告

... 14P

議会改革について

... 15P

市民の声

... 16P

人生の分岐点に立つ14歳の少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を新たに持つ機会
平成28年度 野々市市立志式から（掲載に当たっては関係者の了解を得ています）

第一次総合計画基本構想(後期)の見直しを可決・認定

館野小学校の大規模改修予算6億7千万円を含む平成28年度一般会計補正予算も

平成28年12月定例会は、12月5日から20日までの16日間の会期で開催し、市長提出の議案19件と諮問1件、報告1件を審査し、いずれも全会一致ないし賛成多数で可決承認しました。また議会議案3件は、いずれも賛成多数で可決しました。

平成28年度一般会計補正予算では、館野小学校の大規模改修予算などを議決しました。また、人事案件では人権擁護委員の候補者推薦について、全会一致で同意しました。

議決結果一覧

平成 28 年 12 月定例会				○＝賛成、×＝反対 ※議長（早川 彰一）は採決に加わりません。														
	議 案 名	議 決 日	議 決 結 果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第56号	平成 28 年度野々市市一般会計補正予算（第3号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第57号	平成28年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第58号	平成28年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第59号	野々市市議会議員選挙及び野々市市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第60号	野々市市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第61号	野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×
議案第62号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第63号	野々市市税条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第64号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第65号	野々市市民会館条例等の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第66号	野々市市いきがいセンター条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第67号	野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第68号	介護保険法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×
議案第69号	野々市市農業委員会委員定数条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第70号	野々市市営住宅条例等の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第71号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議案第72号	野々市市企業立地の促進に関する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×
議案第73号	野々市市第一次総合計画基本構想の変更について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×
議案第74号	市道路線の認定について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議会議案第6号	教育予算の拡充を求める意見書	12月20日	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	－	○	×	○	○
議会議案第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書	12月20日	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	－	○	×	○	○
議会議案第8号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	12月5日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○

議案を審議しました

予算決算常任委員会

12月14日(水)・15日(木)・16日(金)・19日(月)

Q 館野小学校 大規模改修 工期・工事内容は

A 平成29・30年度の2か年を当初予定していたが、前倒しで予算化した。工事自体は、平成29・30年の各夏休みを中心にして実施予定である。平成30年度末に完工を予定しており、全体予算6億7千万円余。内容としては校舎改修・体育館・プールなどの改修・空調（教室のエアコンなどは平成29年度には実施したい）工事などを予定している。ほかに、屋上防水、内・外装改修、床・トイレの改修、図書館の拡張、雨漏り対策、照明器具のLED化などの工事も含まれる。

Q 野々市市国民健康保険特別会計補正にあたり、高額医療費の増額の要因は、又その分析・対策はどう考えているのか

A 入院に伴う費用増が要因で、病状としては脳疾患・肝臓・腎疾患が増えている。特に平成26年では200万円以上かかっている方が12名であったものが、平成27年度は17名に増加している。これによる一人当たりの経費は年間約600万円となっている。市としては、健康診断に力を入れており、健康づくり推進員による未受診者への訪問を行うなど、早期発見に努めている。

Q 担当が生じないのか。また、配置人員も新聞報道などで9名の職員を配置するところがあるが、新たに採用などの増員を検討しているのか

A 現在の建物を継続使用すると聞いている。将来建替えることは考え得る。職員配置数は現在と同程度の9人の配置と聞いている。その他平成29年4月1日の組合加入（予定）に向けては今後調整の上、議会にも報告していく。

Q 白山野々市広域事務組合への川北町の加入申し入れがあったが、既存の川北町の消防施設も老朽化しており、加入により新たな負担が生じないのか。また、配置人員も新聞報道などで9名の職員を配置するところがあるが、新たに採用などの増員を検討しているのか

A 現在の建物を継続使用すると聞いている。将来建替えることは考え得る。職員配置数は現在と同程度の9人の配置と聞いている。その他平成29年4月1日の組合加入（予定）に向けては今後調整の上、議会にも報告していく。

Q 5年後という近い将来の人口増（市の目標推計人口58,000人）に対して、小中学校等は児童生徒増にあたり、現在増築対応としている学校の建物。新たに建設などしなくても対応は大丈夫なのか

A 国では選任の過程で、公募制を勧めており、1か月以上の期間、市のホームページで公開を行うようにしている。また、選考については公平性を保つよう努める。

Q 農業委員会がこれまでの公選制から、市長の任命制になるが、関係団体からの推薦などを尊重していったほしい。また、事前に委員の公募をするのであれば、その募集期間や情報公開などはどうなっているのか

A 国では選任の過程で、公募制を勧めており、1か月以上の期間、市のホームページで公開を行うようにしている。また、選考については公平性を保つよう努める。

Q 5年後という近い将来の人口増（市の目標推計人口58,000人）に対して、小中学校等は児童生徒増にあたり、現在増築対応としている学校の建物。新たに建設などしなくても対応は大丈夫なのか

A 国では選任の過程で、公募制を勧めており、1か月以上の期間、市のホームページで公開を行うようにしている。また、選考については公平性を保つよう努める。

Q 農業委員会がこれまでの公選制から、市長の任命制になるが、関係団体からの推薦などを尊重していったほしい。また、事前に委員の公募をするのであれば、その募集期間や情報公開などはどうなっているのか

A 国では選任の過程で、公募制を勧めており、1か月以上の期間、市のホームページで公開を行うようにしている。また、選考については公平性を保つよう努める。



金村 哲夫 議員

土地区画整理事業における 企業誘致の進捗は

まちづくりにふさわしい企業誘致の 支援に取り組む

Q 豪雨による避難勧告などが
どのような時に発令される
のか、判断基準を問う。

**豪雨による避難判断基準に
ついて**

A 市長 ● 自主防災組織の活動を
支援し、また、市民主体となっ
た訓練を実施することにより、訓練
への参加者を増やしたい。

Q 地域防災力の向上を図る具
体的な対策として、総合防災
訓練を実施しているが、参加率を上
げる対策を示せ。

**「市の総合防災訓練」の参加
率を上げる対策を示せ**

A 市長 ● 企業誘致の取り組み
については、本市の都市計画
マスタープランにおいて、石川県立
大学を核とした新産業創出拠点とし
て位置づけしており、その実現に向
けたまちづくりにふさわしい企業の
進出を期待している。

Q 中林土地区画整理事業にお
ける石川県立大学周辺の新
産業創出拠点での企業誘致に向けた
進捗状況を示せ。

A 市長 ● 企業誘致の取り組み
については、本市の都市計画
マスタープランにおいて、石川県立
大学を核とした新産業創出拠点とし
て位置づけしており、その実現に向
けたまちづくりにふさわしい企業の
進出を期待している。

A 市長 ● 10月26日に京都府城陽
市と災害時における相互応援協
定を締結いたしました。被災地の
応援要請を待たずに迅速に必要な支
援を相互に行うことになっておりま
す。広域的な大規模災害時に有効で
あることから、引き続き検討したい。

Q 災害時における相互応援協
定締結の内容と、今後、同様
の協定を結ぶ予定を問う。

**災害時における相互応援協
定締結について**



拠点避難所での市総合防災訓練

A 市長 ● 本市の地域防災計画や
水防実施計画では、気象情報
と河川の水位により避難判断の基準
を示しており、また、指定行政機関
や県などからも協力・助言をいただ
き、迅速に対処する。



特別養護老人ホーム 富樫苑

Q 富樫苑の利用者・待機者の過
去3カ年の状況を示せ。

A 健康福祉部長 ● 利用状況は、
定員70名のところ野々市市か
ら47名、その他から23名となってい
る。待機者の状況は、平成25年度は
68名、平成26年度は60名、平成27年
度は37名となっている。

Q 富樫苑の介護スタッフの人
材不足の有無を問う。

A 市長 ● 現在は、職員全体で86
人おり、特別養護老人ホーム
の設備及び運営に関する基準で定め
る職員の配置基準を十分に満たして
おります。

**特別養護老人ホーム富樫苑
の利用者・待機者の状況に
ついて**



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/dxopvp>



安原 透 議員

野々市市第一次総合計画中間見直しについて、将来都市 像達成への、今後5年間の市長の考え方について伺う

第一次総合計画のサブタイトル「ともに創り ともに 育む」をふまえ、本市の魅力、強みである「協働の力」 で野々市の新しい魅力を生み出していきたい

Q これまで実施してきた施策の
達成状況を踏まえ、将来都市
像「一人の和で椿十徳生きたまち」の
達成をめざすため、市制施行10周年
に向けて、野々市市第一次総合計画
後期基本計画への所見を伺う。

A 市長 ● 第一次総合計画は、市
制施行後の10年間を展望し、
本市のまちづくりの道標（みちしる
べ）として策定した計画である。中
間年を迎えた今も、将来都市像の実
現に向かって、市民の皆様とともに
歩み続けている。これまでの歩みを
振り返ると、優良な住環境を整備す
るための土地区画整理事業や、新し
い図書館や公民館の整備にも着手、
快適な生活の場、活躍の場づくりを
進めてきた。

Q 「まち・ひと・しごと創生法」
の規定に基づき策定された
「のいち創生総合戦略」と「野々
市市第一次総合計画」との整合につ
いて、2つの施策をどのように位置
づけているか。

「野々市ブランド」の確立を

や「地域の活動に参加している」い
うお声も半数以上にのぼり、市民の
皆さんからの多くの声を受け、野々
市ブランドの確立に向けた取り組
みを、さらに推進していきたい。

A 市長 ● 「野々市市第一次総合
計画」は、本市のまちづくり
のめざす方向性として、市民生活、福
祉・保健・医療、安全安心、環境、
生涯学習・教育、産業振興、都市基
盤、行財政運営の8つの政策を柱と
し、まちづくりの全分野を網羅した、
本市の最上位の計画である。

「のいち創生総合戦略」とは

「のいち創生総合戦略」は「まち・
ひと・しごと創生法」の規定に基づ
き、我が国の人口減少と、地域経済
の縮小を克服するための、本市にお
ける対応方針を示した計画である。
創生総合戦略は、総合計画で、産
業振興、福祉、都市基盤の、3つの
分野に特化し補完しているもので、
第一次総合計画との整合を図ってい
る。また、本市は人口が増加してい
ることから、まずは、新たな産業の
創出や、多様な働き方の実現による、
地域経済の活性化に重きを置いてい
る。地域経済や産業構造は、本市の
取り組みだけで成し得るものではな
く、本市を含む経済圏の発展にも資
することができるとあり、広域的な
枠組みの中で、本市の新しい魅力
の発見にもつながると考えている。
まちづくり全般の方向性を展望
している「第一次総合計画」を中心
に、それぞれの計画を着実に、また、
相乗効果を生み出しながら、市政を
推進してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/IWCVge>



五十川 員申 議員

庁内の部や課を横断して活動できる 情報政策に関する部署を設置せよ

情報セキュリティ委員会 というものが既に設置されている

- Q** 本市webサイトが、セキュリティに関しての設定（SSL認証）に問題があり閲覧しづらいという状況が発生していましたが、本市としては、いつからこの状況を把握しているか？
- A** 企画振興部長 ● 2016年10月中旬に状況を初めて把握した。
- Q** この状況について調べると、2015年12月中旬から発生していた問題だと推測されます、また今回の様な状況が発生する事は、情報セキュリティに関しての知識があれば2014年8月から推測できた事案です、なぜ発見が遅れ対応が遅れたのか教えてください。
- A** 企画振興部長 ● 2014年に提供されていた情報は見逃しており、発見まで対応が遅れました。10月中旬以降、設定の見直しあるいは改善を行ってきたが解決にいたらず12月9日にSSL認証をお願いしていた相手先を変更することで解消いたしました。
- Q** 今回のような問題の発生を未然に防ぐには庁舎内全体の情報リテラシーをあげる必要があります。また、情報に関してはどう

- しても専門的な知識が必要になってくるために情報政策に素早く対応できる組織の確立をしてはどうかと思うが、既に野々市市では情報セキュリティ委員会というものが副市長、部長及び企画課長を持って組織するとありました。今回の事案への対応も遅れています。素早く対応できる組織の確立というものを本市に願いたい。
- A** 企画振興部長 ● 今回の案件も私と、企画課長が相談をして、最終的に副市長に報告しております。これまでも野々市市情報セキュリティに関する規程に基づき、情報システムの運用に関わる諸問題に対応してまいりました。今回の事案をもとに、これまで以上に組織の機能強化に努めてまいりたいと考えております。
- 残念ながら、一般質問の時間切れの為質問に対しての答弁が上手く噛み合わない状態で終わってしまいました。これらの地方行政には、素早い情報政策に対する対応が求められます。情報は市民の財産です。しっかりと守ったり、市民の皆さんがスムーズに情報利用ができるようこれからも提案していきたいと思います。

	実 態	詳 細
2009年10月	本市webサイト刷新と共にSSL対応	一般の方は、検索サイトで本市webページを検索しても対応ページではない方へ接続される為、見ることはなく問題が露見しなかった。この時点でSSL対応させた事は問題意識も高く素晴らしい。しかし、SSL対応の仕方、認証方法などに問題があった。
2014年8月	大手検索サイトgoogleが今後SSL対応サイトがある場合は優先的にSSLサイトの方を検索結果として表示するようにすると発表	発表自体を知らず、確認は行われていない。
2015年12月	googleがSSLサイトを優先的に検索結果として表示するシステムへ移行	発表自体を知らず、確認は行われていない。ここから検索して本市webサイトへ訪れる方に問題が起きたことが予想されています。
2016年10月	本市が問題を把握	それに対しての答弁では、詳細は分らず。
2016年12月	民間のSSL認証に切り替え問題解消	



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/22Cy2y>



馬場 弘勝 議員

新市立図書館とのっティ利用、 来館利便性への対策を講ぜよ

市内のどこからでも、100円で一時間以内のアクセスが 実現できないか、地域公共交通協議会で現在検討中である

- Q** 平成29年11月以降のオープン時やイベント開催時は、駐車場の収容能力を考えると、大変な混雑が予測される。公共交通機関の利用促進と来館利便性への対策を講ぜよ。
- A** 市長 ● コミュニティバスののっティの図書館敷地内への乗り入れや、図書館利用者への無料乗り継ぎサービスを実施することで、市内のどこからでも、100円で、1時間以内のアクセスが実現できないか、地域公共交通協議会において現在検討中である。
- Q** 新図書館は、午前9時～午後10時までに拡大して開館されるのが大きな特徴の一つである。開館時間に対応し、のっティの運行時間を拡大延長せよ。
- A** 市長 ● 平成25年度に実施した新市立図書館・市民学習センターについてのアンケートによれば、夜の閉館時刻の延長を希望している方のほとんどが、30歳代から50歳代の方であったことから、仕事帰りに利用していただくことを想定し

新市立図書館とのっティ、 来館利便性について

- ており、公共交通機関の利用は少ないと思っている。今後、利用者からの聞き取り調査や、アンケートを実施することにより、ニーズの把握に努める。
- Q** 今後25年間で整備される約4,000区画の墓地の種類の割合は。また、5年後の平成33年までに整備される約1,000区画についてはどうか。
- A** 市長 ● 平成26年の1000世帯を対象とした墓地に関するアンケート調査をもとに、従来型で



「のっティ」のルートマップ・時刻表

市営墓地公園の墓地種類と 使用申請者の資格要件につ いて

- ある墓石型墓地を2400区画、壁・芝生墓地を1000区画、合葬墓である共同参拝墓地・ロッカー形式墓地を600区画とする。今後5年後までに整備する墓地の種類は、多様なニーズに対応できるよう、すべての種類の墓地を予定している。
- Q** 墓地使用申請者の資格要件は、どのような内容を想定しているのか。
- A** 市長 ● 募集開始時には、市民先行応募としたり、使用料を市民の方と市外の方とを区別するなど市民を優先し、市民の墓地需要に適切に答えていく。
- Q** 旧栗田保育園跡地の利用について
- A** 市長 ● 放課後児童クラブへの施設の貸与は、平成29年度末までとする。その後の跡地利用については、地元の皆様のご要望、ご意見もしっかりと踏まえながら、公共施設等総合管理計画の個別施設計画の中で検討する。

旧栗田保育園跡地の利用に ついて



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/UU9ANu>



北村 大助 議員

田尻町の温泉スタンド事業が開設5年経過致しましたが、温泉スタンドを活かした今後の展開を伺う

入浴利用にとどまらず、野々市ブランドとして活用できる方策を模索してまいりたい

Q 今後、温泉スタンド・温泉水を活かした活用策や次の展開が望まれる。具体的な事業展開や市民の皆様に、ますますご利用いただけるアイデアをお持ちなのか、充分に「野々市ブランド」に成りうる資



温泉スタンド外観

A 市長 ● 開設から本年11月末まで約1700件のご利用をいただいている。ご利用された方からは泉質がよいとお声もいただいております。今後も地域資源として販売を継続していきたい。

Q 平成23年6月開設されました田尻町の温泉スタンド事業の利用実績をもとに現在の行政評価を伺う、地域資源というお考えはあるのか。

田尻町の温泉スタンド事業について

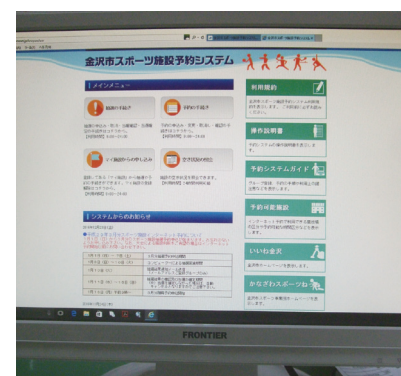
A 市長 ● 今後の事業展開やその企画方法については、入浴利用にとどまらず、幅広い温泉資源の有効活用も視野に入れ、市民提案型・大学連携など野々市ブランドとして活用できる方策を模索してまいりたい。

公共施設予約状況案内システムについて

Q 27年度総務省調査では、13、59歳のインターネット利用は9割を上回っている。また、60、79歳の利用は上昇傾向である。石川県民の利用率は84・4%と全国平均より高いです。28年度本市施設予約状況案内システムのアクセス数は？

A 教育文化部長 ● 28年4、10月までアクセス数は、体育9施設・文化6施設合わせて約32万件で月平均45000件余りです。また、カメラの月平均3000件程、フォルテの月平均が3600件程となっております。

Q 現在の予約申請は窓口対応です。平日、お仕事の方々に



隣の金沢市ではインターネットで施設予約可能

A 市長 ● 本市でも体育施設をしております。県内導入済2市では、施設管理面においても受付事務など一部省力化効果がある一方、簡単に予約出来る事から真に利用したい方が予約出来ないといった事例もある。予約システム導入については、今後利用者の利便性向上や費用対効果を考慮しながら慎重に調査・検討していきたい。また現在の施設利用申請の受付方法の改善についても検討していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/my4TGY>



大東 和美 議員

コミュニティバス・「のっティ」の自動運転化を推進

公共交通機関の自動運転化は、実用化のめどが立っているとは聞いておりません

Q 図書館建設後も、運営管理者と市民、行政が協議できる仕組みをどのように考えているか伺う。

魅力的な街づくりのために図書館を生かす

A 市長 ● 図書館ボランティアや、図書館協議会委員の方々のご意見を十分お聞きしたい。アンケートから200万人を超える利用をいただき、徹底した安全点検と安全確認を行い運行に安全第一で利用促進している。公共交通機関の自動運転化の今後の技術開発について関心をもって注視してまいりたい。

Q 高齢ドライバーの事故多発、「ながらスマホ」事故、自転車加害者になり巨額の賠償が求められるなど高齢社会と世相を反映した対策が求められている。免許の自主返納や違反への罰則強化、自動運転などの新技術の開発への期待、シェアへの取り組みで電気自動車など考えられるが、「コミュニティバス」「のっティ」の自動運転化について伺う。



児童コーナー（塩尻市立図書館）

「若者会議」の開催を

Q 野々市市の将来だけでなく、広域圏、日本や世界の将来を語る「場」を仕掛ける考えはないか。

A 市長 ● 市ではすでに学生が地域で活躍できる環境整備に努め、結果、大学のサークルの中や、授業の一環としてや、市国際友好親善協会が主催する総会、サロンでの交流も行っている。青年が主体となつて自発的に企画運営し交流が生まれることを期待している。

子育て世代支援包括センターの設置

Q 子どもの命、安全を守る日本版「ネウボラ」（子育て世代包括支援センター）を設置し、特に「母子ともに過ごせる居場所づくり」について伺う。

A 市長 ● 県の動向も踏まえて、宿泊型や通所型の産後ケア事業の実施に向けて検討していきたい。総合的な子育て世代包括支援センターの設置につなげるとともに、子育て支援体制の充実に努めたい。

その他の質問項目は、

公会計制度改革について 上下水道の次は、学校給食費の公会計化を推進せよ

災害時について。避難所における空調設備の推進。聴覚障がい者の災害時の配慮について

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ相談窓口を県内に設置するよう働きかけを。

*ネウボラとは、フィンランドの子育て支援制度で、助言する場所、相談する場所の意。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/orRnUo>



西本 政之 議員

学校現場にタイムカードを導入せよ

調査研究していきたい

- Q** 教職員の勤務時間について
- A** 市教委は平成16年度から、市内公立小中学校の教職員の午後7時以降の時間外勤務と休日出勤の記録を義務付けた。そのデータを生かし、教職員の長時間勤務の抑制に大胆に取り組む。
- Q** 教職員の勤務時間について
- A** 教職員の勤務時間は、教育課題の多様化などから多忙化が進み、少なからず勤務時間を超えて働いている現状がある。負担軽減に取り組んでいるところではあるが、今後とも学校との情報を共有し、健康管理や長時間労働の改善に積極的に取り組んでいきたい。
- Q** 部活動の外部指導員の配置を一層促進することで、わずかも負担軽減につながると考える。
- A** 教育長 ● 今年度は市内の指導者を招いている。また、ノー部活デーを設定することで、負担軽減を図っている。部活動に関しては国でも検討していると聞いており、動向を見ながら対応したい。
- Q** 教育委員会が教職員の勤務時間の調査に取り組んだことは評価できる。もう一歩踏み込んだ

- Q** 教育委員会が教職員の勤務時間の調査に取り組んだことは評価できる。もう一歩踏み込んだ
- A** 市教委は平成16年度から、市内公立小中学校の教職員の午後7時以降の時間外勤務と休日出勤の記録を義務付けた。そのデータを生かし、教職員の長時間勤務の抑制に大胆に取り組む。
- Q** 教職員の勤務時間について
- A** 教職員の勤務時間は、教育課題の多様化などから多忙化が進み、少なからず勤務時間を超えて働いている現状がある。負担軽減に取り組んでいるところではあるが、今後とも学校との情報を共有し、健康管理や長時間労働の改善に積極的に取り組んでいきたい。
- Q** 部活動の外部指導員の配置を一層促進することで、わずかも負担軽減につながると考える。
- A** 教育長 ● 今年度は市内の指導者を招いている。また、ノー部活デーを設定することで、負担軽減を図っている。部活動に関しては国でも検討していると聞いており、動向を見ながら対応したい。
- Q** 教育委員会が教職員の勤務時間の調査に取り組んだことは評価できる。もう一歩踏み込んだ

- Q** 現在採用している臨時・非常勤職員にも優秀な人材がいる。希望があれば任期付職員にしてはどうか。
- A** 市教委は平成16年度から、市内公立小中学校の教職員の午後7時以降の時間外勤務と休日出勤の記録を義務付けた。そのデータを生かし、教職員の長時間勤務の抑制に大胆に取り組む。
- Q** 教職員の勤務時間について
- A** 教職員の勤務時間は、教育課題の多様化などから多忙化が進み、少なからず勤務時間を超えて働いている現状がある。負担軽減に取り組んでいるところではあるが、今後とも学校との情報を共有し、健康管理や長時間労働の改善に積極的に取り組んでいきたい。
- Q** 部活動の外部指導員の配置を一層促進することで、わずかも負担軽減につながると考える。
- A** 教育長 ● 今年度は市内の指導者を招いている。また、ノー部活デーを設定することで、負担軽減を図っている。部活動に関しては国でも検討していると聞いており、動向を見ながら対応したい。
- Q** 教育委員会が教職員の勤務時間の調査に取り組んだことは評価できる。もう一歩踏み込んだ



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/YzCn1r>



宮前 一夫 議員

子育て支援センター菅原内に来春開設する「(仮称)発達相談センター」の設置概要を示せ

幅広い年齢層の発達相談に対応するためにも、4月以降は相談窓口をセンターに一本化し、総合窓口として対応する

- Q** センター開設に向け市民が「準備会」という会合を持ち検討している
- A** 市民からは、「その在り方」として、①発達障がい児の相談窓口を、発達相談センターに一本化する。②一人一人が、発見から就業まで、すなわち乳幼児から成人まで、専門家チームによる継続した相談・支援を受けられるようなシステムを作る、という声があがっている。市の考えを伺う。
- A** 市長 ● 児童の保護者から、成人の方まで、だれもが気軽に相談できるように、出来るだけ早期に、そして切れ目なく一貫した支援を行ってほしい。また、現行の幼児や小中学生の発達相談を担当している臨床発達心理士のほか、医師や専門家による各種相談、保育所や小中学校への訪問相談、青年期の就労相談、理解促進のための市民講座の開設などを実施する。
- Q** 「子育て支援センター菅原」内への設置という事であるが、開設にあたり改修内容や、組織体制、人員配置数、利用時間について伺う。



現在の子育て支援センター菅原

- A** 市長 ● センターの名称については、「野々市市発達相談センター」とする予定である。また、4月以降に、市民のみなさんが、「ここに相談すれば、子どもの成長や発達についての相談に、気軽に乗ってもらえる」と思えるような「愛称」を検討していきたい。また職員は専門相談員など4名程度の配置である。相談時間は、近隣市の実施状況も参考に、市庁舎の窓口受付時間と同じく午前8時30分から午後5時15分までを予定している。センターの改修にあたっては、臨床発達心理士の意見を取り入れ、成人用と児童用の相談室を別々に設けるなどの工夫をする。
- Q** 各種機関とのネットワークづくりの状況、市民への施設の周知の方法や情報提供の在り方、市民への「発達障がい」への理解促進の方法、支援ツールの作成などはどう計画されているか伺う。
- A** 市長 ● 公的、私的にかかわらず相談者にとって有益なサービスの情報は、総合窓口となるセンターにおいて提供していく。また、相談者をはじめ、市民の皆様は広報や市のウェブサイト、理解促進のための市民講座などを通じて広く周知していく。
- 専門家や医療・相談機関との協力体制については、現在行っているように、医療機関をはじめ、県の発達障害者センターや各種障害福祉サービス事業所等を紹介するなど、引き続き連絡を密にし、組織間のネットワークを構築していく。
- 支援ツールについては、他市の「そだちノート」のような方法も参考にしながら検討したい。
- 地域への普及には、センターの紹介や理解促進のパンフレットを作成し、保育園入園時や小中学校の入学時の配布に加え、関係機関、公共施設に配布し関心を促したい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/QcGDt5>

総務産業常任委員会（行政視察）

高梁市は、岡山県の北部に位置する人口33,000人の市で、平成の合併後も人口減少は続いているとのことでした。そこで「高梁元気プロジェクト」と銘打ち、新しい観光ルートの開発を行ったそうです。まず、二次交通の充実を図ることに重点を置き、伯備線

高梁市の、 観光戦略 アクションプラン

総務産業常任委員会では、10月12日から14日の3日間の日程で、岡山県の「道路損傷等における危険箇所の情報提供に関する協定（真庭市）」、「吹屋銅山跡とそこから栄えた吹屋地域の古民家の町並み」という観光資源の活性化（高梁市）、「高い技術力を持った地元中小企業の振興に向けて・地元若者のUターン、Iターン希望者への取り組み（津山市）」、「被災自治体への支援活動・AMD A、野口健さんとの連携（総社市）」以上4市でお話を伺ってきました。

その中から、本市でも参考になるものとして、高梁市での取り組みについて、以下報告いたします。



真庭市役所内で説明を受ける

から各観光エリアへの足がない状態の解消のため、観光タクシーを導入することで全体的な移動ルートの整備を図り、さらに平成21年には備中高梁推進委員会を立ち上げられ、平成25年には観光戦略アクションプランを構築、現在その3か年実施後の検証中であるとのことでした。

観光においては四国・山陽方面から、鳥取・米子・松江・出雲などの山陰地方への通過観光地でもあることから、年間約50万人の観光客が市内観光施設へ訪れるとのことでもあり、代表的な観光資源は、今回お話を伺った「吹屋地

古民家を 高級宿泊施設に改装

域の町並み」と「備中松山城」があります。この「吹屋地域」は江戸時代から昭和の終わりにかけて栄えた吹屋銅山跡、同時に採掘された鉱物からつくられるベンガラ（赤色顔料）が塗られた屋根とベンガラ格子・土塀の古民家の町並みが代表的なものになります。



高梁市役所で説明を受ける

しかしながら、観光客の減少と、60数軒あった町並みも空き家が20数軒になったこともあり、市はせっかくこうしてある観光資源の有効活用、地域の観光振興活動の支援、誘客体制の確立を目的とし、「観光戦略アクションプラン」を策定したとのことでした。

地域住民が 主体となって 取り組むことが大事

本市に残る古い町並みといえば本町地区になりますが、観光資源として活用するためにも、今ある資源を絶やさずどう維持していくかを地域住民が主体となって検討することから始めていくことが重要ではないかと強く感じました。

就学援助制度の入学準備金の支給入学に間に合うよう3月支給に

より良い方法がないか調査研究していきたい



岩見 博 議員

就学援助認定基準項目の拡大を

Q 新入学の児童生徒は入学前にランドセル、かばん、制服などを揃えなければならない。就学援助制度の入学準備金を入学に間に合うように3月に支給する流れが広がっている。本市においても3月支給にならないか。

A 教育長 ● よりよい方法がないか調査研究していきたい。



Q 就学援助の認定基準は、できるだけ多くの児童生徒の就学を経済面から支援するという重要な意義を持っている。文科省が示す基準項目は、市町村民税の非課税や減免となっている方、個人事業税や固定資産税の減免を受けている方など19項目ある。近隣市町でも金沢市は

学校現場の業務を見直し教員の過労死等の防止対策を

Q 15項目、白山市は10項目、能美市は14項目となっている。ところが、本市の認定基準項目は僅か5項目しかない。市の認定基準項目を県内他市並みに広げることを求める。

A 教育長 ● 現行5項目となっているのを見直して、国が示す認定基準を踏まえたものにした。

Q 富陽小学校の教員が勤務中に倒れ、その後亡くなられた。教育委員会としてもご遺族の思いを受け止め、公務災害認定されるようしっかりと支えていただきたい。

A 教育長 ● これまで認定申請に必要なものはすべて協力する立場で来た。これからもそのような立場で対応していきたい。

Q 4月以降、超過勤務となっている教員の時間別人数は。

A 教育長 ● 11月は、40時間以上60時間未満は28人、60時間以上80時間未満は24人、80時間以上は13人となっている。主に学習指導の準備や後始末で遅くなっている。

Q 過去10年間に市立小中学校教員で脳・心臓疾患、うつ病等で休職や退職に至った人数は。

A 教育長 ● 勤務と病気の因果関係は把握していないが、平成18年から平成27年までに、脳・心臓疾患、うつ病等の原因で休職や退職された教員は15人いる。このうち、うつ病などの精神疾患による方は13人、脳や心臓疾患による方は2人となっている。

Q 文科省は教員の給食費を集める等の業務、成績管理や報告文書等の作成業務の負担軽減を求めている。市教育委員会の対応を伺う。

A 教育長 ● 学校給食の公会計化、公務支援システムの導入効果について協議・調査していきたい。

Q タイムカードやパソコンのログ取り等による教員の労働時間の把握を。

A 教育長 ● タイムカードの導入は、教職員の勤務時間を把握するうえで有効と理解している。教職員の負担軽減を図る観点からしっかりと調査研究をしていきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/KH40EL>

教育福祉常任委員会（行政視察）

教育福祉常任会では、10月18日から20日の3日間の日程で、新潟県長岡市の「地域包括ケアシステム構築の先駆的な取り組み事例について」「教育委員会が母子手帳を発行する取り組みについて」「屋根つき広場保育士のいる公園《子育ての駅てくてく》」

長野県上田市の、新しい文化芸術の拠点「サントミューゼ（上田市交流文化芸術センター、上田市立美術館）」、塩尻市の文化交流拠点施設「市民交流センター《えんぱーく》」の以上2県3市にてお話を伺い、本市の今後の事業の取り組みについての大変有意義な行政視察となりました。

地域包括ケアシステム構築の先駆的な取り組み事例について

長岡市は、医療・介護連携と在宅医療に力をいれています。地域包括ケアシステムについて国の制度化前に構造改革特区を活用し、サテライト型特別養護老人ホームをスタートさせたり、24時間365日の訪問介護サービスを実施していたりしていたこともあり、厚生労働省から地域包括ケアシステム構築の先駆的な事例と認定されていました。

教育委員会が母子手帳を発行する取り組みについて

教育委員会が子育て支援の一元化の一環として、母子手帳を発行する取り組みを行い、平成23年4月に子育て支援部を教育委員会内に設置し、現在はこちらも未来部と改称し、さらなる子育て支援に取り組んでいます。

子育ての駅てくてく

長岡市は長岡リジューベネション（長岡若返り戦略）の重要戦略の一つとして「子育てしやすい環境づくり」に取り組んでいます。「みんなで子育てする町長岡」を標榜しており、この施設は「雪国の子供たちは冬季に遊ぶ場所がない」と言う保護者の声に応えるため、公園担当と子育て支援担当の縦割りの行政を統合し、公園として子育て支援施設を作られたそうです。これまでに平成21年度から24年度にかけて4カ所を開設し、平成27年、28年度では9カ所を開設されました。今回視察した「てくてく」はそのうちの1つで、保育士と、一人ひとりに寄り添った相談や情報提供を行う《子育てコンシェルジュ》が常駐した施設となっていて、世代を超えた保護者

の交流や子育て支援の輪が広がっているとの事でした。

施設では、午前9時から午後6時までの開館時間で、無料で利用ができ、毎週水曜日が休館日になっています。長岡市民限定のサービスとして、有料で1時保育も行っており、市民は月4回最大8時間まで利用できるということです。

サントミューゼ（上田市交流文化芸術センター、上田市立美術館）

長野県上田市の、JT上田工場跡地の利活用としての上田市の新しい文化芸術の拠点「サントミューゼ（上田市交流文化芸術センター、上田市立美術館）」。特筆すべき点として大小ホールには、上田産力ラマツが内壁全面に使用されており、その音響の素晴らしさを売りにしておりオーケストラやオペラ、演劇や古典芸能まで芸術を発信する拠点として機能しているとのことでした。

市民交流センター「えんぱーく」

長野県塩尻市では隣接商業施設の撤退残施設を活用した、図書館、子育て支援、青少年交流、シ

ニア活動支援、市民活動支援、ビジネス支援の5つの機能を融合させた市民交流センター「えんぱーく」の視察も行いました。館内では施設内コンクリート壁面を有料で市民に開放しており、個展をはじめいろいろな使い方がなされています。

図書館では欲しい情報に最短でたどり着ける方法としてAV（CD、DVD）資料を同じジャンルの本と一緒に棚に並べる混配方式や、塩尻のブランドであるワインに関する特別のコーナーを設けるなど、従来の枠にとらわれず関連分野を重視してわかりやすい構成になっています。

ワイン特別コーナー



↑市民交流センター「えんぱーく」

議会改革

野々市市議会は、①政務活動費

の公開方法の見直し②議会傍聴規則の見直しについて、昨年11月8日より議会運営委員会から諮問を受けた議会活性化検討委員会が設置され、検討を重ね決定しました。

開かれた議会へ

◆傍聴し易い議会

これまで市議会の本会議等を傍聴する場合、本市条例で定められた方法で慣例的に氏名や住所の記入を求めています。

しかし、昨今の個人情報保護の観点から収集する個人情報が必要か、との指摘があり検討したところ、昨年12月議会からは記入しなくても、発行される傍聴券があれば自由に会議を傍聴できるように

なりました。

◆政務活動費の透明化

いま、政務活動費について不正使用が指摘されており、野々市市議会としても透明化につとめる必要があるのではないかと他自治体に先駆け議論を行い、公開内容、公開方法の見直しを行いました。

また、本市議会ではホームページでの公開も決まり、28年度分は政務活動費（月2万円）が確定する夏頃公開となります。

◆議会広報委員会

29年度、議会広報委員会が、議会公聴会や市民との懇談会の開催、「子ども議会」の開催をすることになりました。

また、昨年11月、川越市議会広



（手前）埼玉県川越市議会広報委員会のみなさんと野々市市議会広報委員＝野々市市議会にて

人事

人権擁護委員

安原 美由紀（郷町）

3月議会の日程が決まりました

- ▼期間
3月1日（水）～3月22日（水）22日間
- ▼開会
1日（水）午前10時
- ▼一般質問
8日（水）・9日（木）
両日とも午前9時30分から
- ▼予算決算常任委員会
13日（月）・14日（火）・15日（水）
3日間とも午前9時30分から
- ▼総務産業常任委員会
21日（火）午前10時から
- ▼教育福祉常任委員会
17日（金）午前9時30分から
- ▼閉会
17日（金）午後2時から
22日（水）午後2時から

傍聴にぜひお越し下さい

のいち ブランド力の向上を!!

福田 美智代さん(二日市町)

私が野々市に嫁いだ時は前安田町長の頃でした。そしてその頃は、インターネットが無い時代においても町長室には、直通FAXなる目安箱のようなシステムがあり、たとえ一方向であっても住民の声が直接行政に届きました。今は市のホームページにいつでも意見が出来ますし、パブリックコメントなどで市民の声を幅広く募集するシステムがあることは大変意義のあることだと思っています。より良いまちづくりのために、もっと多くの市民の皆さんから建設的な意見がでることを期待しています。

私の周りには嫁いでも、県外に出て、定着するのは「野々市」という生

粋の野々市育ちの方が多いです。野々市ってスゴイ!と思いました。

私はその「住みたい!」って魅力は何だろうって、いつも考えます。住みやすさランキングはいつも上位にランキングされています。「安心」で「便利」で「快適」である、でもそのことだけが、これからのののいちっ子たちが、今の大人達のように「住むなら野々市」と思ってくれるでしょうか。市民の声にもっと傾聴し、寄り添って、みんなで街を創り上げる、そういう市であってほしいと願っています。



「野々市の存在価値（ブランド力）を上げる」ことは、以前からのテーマであるかと思いますが、そのことが対外的に「金沢の隣の街」ではなく、これからのののいちっ子たちがふるさととして「住みたい!」って思ってくれる、ののいちにずっと居たい、と思える魅力ある街になっていくと思います。心から期待しています。

市議会に於かれましては日々様々な問題、予算繰りなどで多忙極まりないと思いますが、市民の代表として、責務を果たしてくれると期待しております。



住みよさ ランキング 1位を目指して!

田中 繁さん(栗田2丁目)

野々市町から野々市市になり5年が過ぎました。記念行事の一環で、新婚さんいらっしゃい、NHKのど自慢、開運なんでも鑑定団などの記念番組や、第27回全国樗サミット野々市大会が3月18・19日に開催されます。

県外で石川県の野々市市といっても全く知名度が無く、残念ながら金沢市の隣と言って理解してもらおう中、全国に知ってもらいたいチャンスだと思

いますが、野々市市には、山が無い、大きな川が無い、基幹産業が無い、観光地が無い、でも、住みよさランキングが全国の中で一けたに入っていると報道されているように、とても住みよい街だと思っています。

昨年の国勢調査の速報でも日本の人口が減少に転じたと報道されましたが、野々市市はもうしばらく人口が増えたと予想されています。先人達が区画整理事業などで、住宅地等を整備し、小中高大学が全てあり、病院、ショッ



ピングに便利な住みやすい場所になったからだと思います。

各地区には公共施設がありますが、私の住まいする栗田地区にはありません。市役所に近いとはいえ残念です。また、富樫断層近くで地震の確率が高いと言われているので心配です。今後、議会や行政の連携で小回りの利く安全安心な街になるように、そして住みよさランキング1位になるように、市民第一で取り組んでください。期待しています。

編集後記

○議会広報委員会委員長
辻 信行

千支の十二支はかつて中国で農業を行う際に暦として使われていた農業用語で、農作物の成長過程を12段階で表す意味を持ち、カレンダーとしての役割を果たしていました。その十二支が江戸時代に日本に言い伝えられ、一般庶民でも分かりやすいよう十二支に動物が当てはめられ、そこから十二支が広がったと言われています。

皆様には今年の千支(酉)ニワトリ図柄の年賀状が多く届いたことと思います。ニワトリの語源は、庭のトリだといわれています。朝、必ず決まった時間に鳴くといわれるほど時間に正確な鶏は、もともと「時」を知るために飼われていたというくらいです。

また、酉年生まれの人には世話好きで交際範囲も広く、情報に敏感で時代を先取りする能力にすぐれているなど、今年は縁起の良い年でありますので、より一層充実した広報活動に努めたいと思っています。皆様のご意見等をお聞かせいただければ幸いです。

お問い合わせは、左記記載の市議会もしくは、メールでお願い致します。